

教科	科目	学年	単位数
国語	国語	1 年	5
使用教科書		副教材	
中学校国語 1 光村図書 中学校書写 光村図書		最新国語資料集 新学社・漢字練習字典 新学社 新・基礎の学習国語 1 新学社 解いて覚える中学生の文法 とうほう	

1. 学習到達目標

- ・目的や場面に応じて、構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えて聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度で学習に取り組む。
- ・目的や意図に応じ、構成を考えて的確に書く能力を身に付ける。
- ・さまざまな種類の本や文章を読み、内容や要旨を正確にとらえる能力を身に付けるとともに、読書を通じてものの見方や考え方を広げようとする態度を身に付ける。

2. 評価の観点と方法

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 定期テストの結果に、小テスト・提出物・授業態度などを加味し、総合的に評価する。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようになる。 定期テストの結果に、小テスト・提出物・授業態度などを加味し、総合的に評価する。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 授業態度、課題への取り組み状況、提出物などを総合的に評価する。

3. 学習内容（下表参照）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

- ・授業とは別に、定期的に漢字テストを行う。また、教科書にない教材や発展的内容を扱うこともある。
- ・定期テストの範囲は下表の中から選択し、その都度示す。
- ・下表とは別に、重点的に口語文法を扱う。また、特別授業の中で書写を扱う。

	月	単元	授業内容	その他
一学期	4	物語 詩 話す・聞く 季節のしおり春	はじまりの風 朝のリレー 情報を聞き取り、要点を伝える	・場面ごとの心情の変化を、図を用いて整理する。 ・場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を捉える。 ・詩の構成や表現の効果を考えて音読する。 ・詩を読んで感じ、想像したことを共有する。 ・聞いたことを整理してわかりやすくまとめる。 ・音節と五十音について学ぶ。 ・活字と手書き文字・画数・筆順を学ぶ。
	5	言葉 1 漢字 1	音声のしくみとはたらき 漢字の組み立てと部首	
		説明	ダイコンは大きな根？	・比較がどんな場面で使われるかを確かめる。 ・段落の役割に着目して、文章の内容を捉える。
	6	説明 詩 言葉 2	ちょっと立ち止まって 空の詩 三編 指示する語句と接続する語句	・筆者の主張と事例との関係を整理する。 ・文章の構成に着目し、要旨を捉える。 ・詩の言葉を読み味わい、語感をみがく。 ・詩の情景を想像し、表現の効果について考える。

	7	詩 書く 言葉 3 話す・聞く 文法への扉 1 季節のしおり夏	比喩で広がる言葉の世界 情報収集の達人になろう さまざまな表現技法 心情を表す言葉 読書を楽しむ 言葉の単位・文節の関係	・比喩について理解し、生活への生かし方を考える。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。 ・情報の整理の仕方や出典の示し方を理解する。 ・集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ・読書が自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。 ・学習を生かして本の魅力や感想を伝え合う。 ・文節・連文節・文の成分を学ぶ。
二 学 期	9 10	物語 小説 古文 書く 漢字 2 言葉 4 話す・聞く 季節のしおり秋	大人になれなかった弟たちに 星の花が降るころに いろは歌・蓬萊の玉の枝 項目を立てて書こう 漢字の音と訓 方言と共通語 聞き上手になろう	・本や資料を読み、登場人物が置かれた状況を知る。 ・登場人物の行動や風景の描写を基に、心情を捉える。 ・場面や描写の結び付きを、図などに用いて整理する。 ・場面と場面、場面と描写を結び付けて、作品を解釈する。 ・古文の仮名遣いやリズムに注意して音読する。 ・歴史的仮名遣いについて学ぶ。(竹取) ・分類などの情報の整理の仕方を理解し、活用する。 ・情報を整理し、構成を考えて書く。 ・漢字の音読みと訓読みについて学ぶ。 ・共通語と方言の果たす役割について理解する。 ・音声の働きや仕組みについて理解を深める。 ・必要に応じて記録したり、質問したりしながら話の内容を捉える。
	11 12	記録 詩 図表 書く 漢文 意見 漢文の読み方 話す・聞く 文法への扉 2 (文法のまとめ) 季節のしおり冬	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 大阿蘇 根拠を明確にして書こう 今に生きる言葉 「不便」の価値を見つめ直す 訓読の仕方 話し方について考えよう 単語の類別・品詞	・筆者の意見とそれを支える根拠を理解する。 ・構成や展開の効果について、根拠を明確にして答える。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増やす。 ・互いの発言を結び付けて考えをまとめる。 ・グラフや文章から情報を読み取り、発表するとともに、課題について考える。 ・訓読の仕方を学び、音読する。 ・必要な情報を選び、結び付けて要約する。 ・筆者の主張に対して自分の意見を持つ。 ・訓読の仕方について学ぶ。(「矛盾」) ・読み手の立場から、表現の仕方を整える。 ・意見と根拠を明確にして話し合う。 ・単語の類別と品詞について学ぶ。
三 学 期	1 2 3	随筆 小説 書く 話す・聞く・書く 詩 漢字 3 文法への扉 3	二十歳になった日 少年の日の思い出 構成や描写を工夫して書こう 一年間の学びを振り返ろう ぼくがここに 漢字の成り立ち 単語の分類 自立語・付属語	・随筆の構成や表現の効果について考える。 ・登場人物の関係や心情の変化などを捉える。 ・構成や語り手の視点から表現の効果をつかむ。 ・根拠を明確にして、考えを述べる。 ・読み手の立場から、文章をまとめる。 ・一年間の自分とクラスを振り返って、情報を集め、整理して考えをまとめる。 ・語り手と視点に着目して、作品をより深く理解する。(「少年」) ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現技法を理解し使うことができる。